

平成 3 0 年

第 3 回（9 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	1 1 番 太 田 一 彦 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 教育行政について		
	(1) 今年7月2日(月)、台風7号接近のため本町の小中学校が休校になったが、県内では本町だけだった。実際は翌3日(火)に台風が最も接近し、結局2日間の休校となった。		
	なぜこのような事態になったのか。今後はどのような対応をとる考えか。		
	また、2日間のカリキュラムの遅れの分は、どのようにになるのか。		
	(2) 台風接近や大雨警報が発令されるような時に、本町は災害対策本部を設置されるが、教育委員会は総務課との情報交換を行っていないのか。		
	(3) 他の緊急事案が発生した場合、児童・生徒への連絡網等は、どうようになっているのか。		
	(4) 6月18日午前7時58分ごろ大阪北部地震が発生した。学校のブロック塀が崩壊し、その下敷きになった通学中の小学4年生の尊い命が犠牲となった。		
	このことから、本町の学校施設のブロック塀等をチェックし、撤去されると聞くが、経過等はどのようになっているのか。		
	通学路についても危険箇所等の確認はされたのか。またその対策は。		
	(5) 昨今、我が国のスポーツ界において、パワハラや暴力の問題が取り沙汰されている。本町においても小中学校の部活動等でパワハラや暴力、いじめ等の事案はないか。また、そのことに関する聴取り調査等を行われているか。		
(6) 南小学校の校庭が芝生化された。その経緯と経過及び今後の管理等について問う。			
(7) 8月23日、県教委から4月に行われた全国学力テストの結果が公表された。その結果を踏まえ、今後どのように取り組まれるのか。			
2. 観光事業について			
(1) 観光客の中で外国人が占める割合はどれくらいか。その人たちへのサービスはどのようになっているか。今後、どのように対応していくのか。			
(2) 儲かる農業の施策の一つとして、観光農業を視野に入れての取り組みが必要と思うがどうか。また、そのような話し合いの場を農業関係者及び関係団体と設けるべきではないか。			

通告順位	2	通 告 者	1 2 番 堀 池 主 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 本町の高齢者と空き家対策について (1) 高齢者のみの世帯や一人暮らし世帯の現状はどのようになっているか。また、支援は十分できているか。 (2) 本町の「高齢者の見守り活動に関する協定」は、どのようになっているか。 (3) 高齢者のみの世帯や一人暮らしの方が施設に入所または病院に入院され空き家になった例はあるか。また、本町には、約何軒でその対策はどうなっているか。 (4) 予約制乗合交通は、現在一週間に2回運行されているが、月曜から金曜まで運行する考えはないか。 2. 教育行政について (1) 岡山県津山市で2004年、当時9歳の女儿、新潟市でも2018年、当時7歳の女儿が殺害される痛ましい事件があった、6月に長崎市内で発生した下校中の女儿への強制わいせつ致傷事件があったが、児童・生徒の登下校時の安全指導などはどうなっているか。 (2) 県警はこのほど、署長会議を開き、通学路で子供の安全を確保する対策の推進など今後の重要課題を確認したとあるが、川棚署、交番、駐在所との会議はされたか。 (3) 児童が名札を付けて登下校しているが、名札は学校内だけにする考えはないか。 (4) 6月大阪府北部地震で小学校のブロック塀が倒壊して女儿が死亡する痛ましい事故があったが、本町の学校や施設を調査されたと思うが、結果と対策はどうなっているか。 (5) 県道の歩道に草が生えている箇所があり、児童・生徒が登下校時に危険であるが、作業はだれがするのか。 (6) 教科書が分厚くなるなどでランドセルが重くなり、腰痛を訴える児童もいる。これを受け文部科学省は「置き勉」を認めようと、全国の学校に求める方針を固めたとあったが、ランドセルそのものを見直すとの声も聞くが、教育委員会での検討はどうなっているか。		

通告順位	3	通 告 者	3 番 横 山 聖 代 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 女性活躍推進について 女性がもっと輝き、活躍する社会になるためには、職場環境の整備等があげられるが、それを可能にするためには、仕事と家庭生活との円滑で継続的な両立が必要と思う。つまり、社会の最小単位である家庭内での女性の負担を軽減していくべきである。家事・育児・介護等は、夫婦内、家庭内の自助努力に任せられている現状にこそ課題が山積している。 (1) 今年度から町が実施しているセミナー『夫婦会議』をこれかも推進していくために、母子手帳の交付と共に『世帯経営ノート』を交付してはどうか。 (2) 夫婦会議体験プログラムを継続的に実施し、夫婦の性別役割分担意識を払拭し、夫婦どちらかに負担が偏ることのないような家庭づくりを応援・支援し、家事・育児・仕事はみんなでやるという現代版ファミリースタイルを推進してはどうか。 2. 小中学校のエアコン設置について 小中学校のエアコンについては、早期に全校設置を目指すところがあるが、今夏のような猛暑を踏まえると、早急な設置が望ましい。設置についての、具体的なスケジュールはどのようになっているのか。		

通告順位	4	通 告 者	2 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 男性の育児参加について 少子化・核家族化が進み、子育て支援制度を充実させることが、大きな町民ニーズとなっている。他自治体の動向を踏まえても、本町独自の子育て支援制度を展開することは急務と思われる。女性の就業率が年々増えており、母親の育児・家事の負担軽減を図るためにも、父親が積極的に子育てに関わり、夫婦で協力して家庭生活を営むための支援を行うべきではないか。 (1) 本町における女性の就業率および役場の女性職員の割合は。 (2) 本町就労者全体および町職員の育児休暇の取得状況は把握しているか。 (3) 「子育て親育ち講座」「夫婦パートナーシップ応援セミナー」の開催状況と今後の予定は。 (4) 町職員を対象として国が進める「さんきゅうパパプロジェクト」の推進を図ることは出来ないか。 2. 所信表明について 女性の感性と若い人の創造性を活かしたまちづくりを進めるとの方針が出されているが、他自治体との差別化を図り、本町の発展を促すためにも大変重要な視点と思われる。 (1) 「女性の感性と若い人の創造性を活かす」ために、具体的にどのように取り組むつもりか。 (2) 町内境界および町外に設置され、年月が経過している案内看板にセンスを感じない。波佐見高校美術工芸科の協力を仰ぐなどして、デザインを見直す考えはないか。 (3) 西ノ原地区などを訪れる女性観光客に対する来町要因分析は行っているか。 3. 地域おこし協力隊員の活動について 地域おこし協力隊員として、過去3名の隊員が活躍され、現在も1名が在籍し、様々な分野で、外部からの視点を生かし、それぞれの立場で、職員には出来ない柔軟さで活動している。 事業開始から時間が経過したこともあり、協力隊の活動には全国的に課題も挙げられている。		

	協力隊員の活動充実のためには、さらなる役場内での支援体制および、町民への協力依頼が欠かせない。 (1) 過去の隊員および現隊員赴任時に、役場外への業務案内・挨拶などを行っているか。 (2) これまでの活動実績を踏まえて、活動への支援体制は十分だと考えているか。 (3) 町民に対して隊員活動の協力依頼および活動報告を行っているか。 (4) 隊員の活動状況および課題について、全担当課に対する情報共有がなされているか。
質問の相手	町 長

通告順位	5	通 告 者	9 番 尾 上 和 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 学校給食における食育について 献立は「おいしくて、栄養豊富で、安全なものを子どもたちに！」を合い言葉に作られていると思うが、食べ残しなどまだ多いと聞く。 (1) 学校ごとの食べ残しの量はどのくらいあるのか。好きな献立、嫌いな献立の把握はしているのか。 (2) 学校ごとに、子ども達にメニューをプレゼンしてもらい、投票でグランプリ優勝を決め給食のスペシャルメニューとして実現化することが出来ないか。 (3) 食べ残しを減らすため、給食時間が終わる数分前に「もぐもぐタイム」と称して食べる事に集中させる時間を作ってはどうか。		
	2. 防犯カメラおよびドライブレコーダーについて 防犯カメラやドライブレコーダーは、犯罪捜査の重要な手がかりになるだけでなく、防犯上の効果も期待できることから、市町村によっては助成制度がある。 (1) 町内に防犯カメラはいくつあるのか。 (2) 町内での人身事故や物損事故、公用車での事故などは年間どのくらいあるのか。 (3) ドライブレコーダーは、防犯カメラにもなり、安心安全なまちづくりにつながると思うがどうか (4) 町職員や町民の安全運転の意識向上を図るため、公用車にドライブレコーダーを搭載できないか。		

通告順位	6	通 告 者	5 番 北 村 清 美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 人口減少対策について これから、日本では経験したことが無い人口減少が予想される。 長崎県全体においても過疎化が進行しており、本町も窯業、農業の後継者不足はもとより、地域間格差が顕著に現れている。 (1) 本町の重点政策は何か。また、他町にない特色のある政策はあるのか。 (2) 高校生の医療費の無料化はできないか。 (3) 定住奨励金、リフォーム補助金等の増額は考えられないか。 (4) より一層の下水道、浄化槽設置の奨励ができないのか。 (5) これからは、シュタットベルゲ（ドイツ）、日本では『みやまスマートエネルギー』のような住民サービス主体に活動する事業を考えるべきではないか。 2. 町長の6期目の政策について (1) 庁舎建設、歴史文化交流館（仮称）整備、町営団地小石原住宅整備（建替え）における、各事業の基本的な方針は。 (2) 中長期における本町の政策ビジョンはどのように考えているのか。		

通告順位	7	通 告 者	6 番 脇 坂 正 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 町民所得の向上について 町長は、町民所得の向上を図ると言明されている。是非実現してほしいと願うが、そのためにはどのような方法で、いつ頃を目途に実現予定なのか問う。 (1) 本町の一人当たり町民所得額はいくらか。また、本県自治体の中での順位はどの位か。 (2) 本町の町民所得向上のためには、どのような施策を行うのか。 (3) 町民所得向上の目標数値は ① 金額および率はどの程度か。 ② 達成目標とする年(年度)はいつか。 ③ 本県自治体の中での順位は、どの程度を目指すのか。 2. コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について 県教委は、平成32年度から県内全市町の公立小中学校で、1校以上コミュニティ・スクールを導入する方針であることを明らかにされた。本町の方針および取り組み状況について問う。 (1) コミュニティ・スクールの概要について (2) コミュニティ・スクールを設置した場合のメリット、デメリットは何か。 (3) 学校支援会議や学校評議員会等、既存組織との整合性はどうするのか。 (4) 本町の方針および取り組み状況はどうか。		

通告順位	8	通 告 者	4 番 三 石	孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	1. 官製談合事件について 本年6月1日付配布された「官製談合事件にかかる再発防止対策について」によると、①当該職員の公務員としての倫理意識の欠如、②事件防止の業務及び組織体制に原因があったとしている。 その後、どのように綱紀肅正を図ったか、次の点を問う。 (1) 再発防止対策の現状はどうか。 (2) 町政に対する町民の信頼回復はどうか。 (3) 再任用者の処分規定の整備はどうか。 2. 自治会からの要望書について 選挙の折、公約された『町政運営の8本の柱』の3番目に書かれてある「生活環境の整備促進」に該当する自治会からの要望書について次のことを問う。 (1) 要望書の基本的な取り扱いはどうか。 (2) 要望書の内容が実施できていないものの取り扱いはどうか。 3. 自治会に対する補助金等について 少子高齢化社会の進行で人口減少に歯止めがかけられない。各自治会の活動は住民の会費でまかなっており、財政支出にも限界がある。そこで次のことを問う。 (1) 災害対応の補助金等にはどのようなものがあるか。 (2) 補助金等の情報は公平に行っているか。 (3) 自治振興交付金の支出はどのように行っているか。			